

リカゲル（蛍光剤入り）を用いて調製した薄層板にスポットする。次に酢酸エチル/エタノール（99.5）/水混液（20：2：1）を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線（主波長 254 nm）を照射するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち 1 個のスポットは、標準溶液から得た暗紫色のスポットと色調及び  $R_f$  値が等しい。また、試料溶液から得たパラオキシ安息香酸に相当するスポットの移動距離を 1 とするとき、その相対距離 0.3 付近に暗紫色のスポットを認める。

純度試験 果柄 本品は果柄 5.0 % 以上を含まない。

灰分 6.0 % 以下。

酸不溶性灰分 0.5 % 以下。

エキス含量 希エタノールエキス 8.0 % 以上。

## キジツ

Immature Orange

AURANTII FRUCTUS IMMATURUS

枳実

本品はダイダイ *Citrus aurantium* Linné var. *daidai* Makino, *Citrus aurantium* Linné 又はナツミカン *Citrus natsudaidai* Hayata (*Rutaceae*) の未熟果実をそのまま又はそれを半分に横切したものである。

性状 本品はほぼ球形で径 1 ~ 2 cm, 又は半球形で径 1.5 ~ 4.5 cm である。外面は濃緑褐色~褐色でつやがなく、油室による多数のくぼんだ小点がある。横切面は周辺が厚さ約 0.4 cm の外果皮及び中果皮からなり、表皮に接する部分は黄褐色、その他は淡灰褐色を呈する。中心部は放射状に 8 ~ 16 個の小室に分かれ、各室は褐色を呈してくぼみ、しばしば未熟の種子を含む。

本品は特異なおいがあり、味は苦い。

確認試験 本品の粉末 0.5 g にメタノール 10 mL を加え、2 分間穏やかに煮沸した後、ろ過し、ろ液 5 mL にリボン状のマグネシウム 0.1 g 及び塩酸 1 mL を加えて放置するとき、液は赤紫色を呈する。

灰分 7.0 % 以下。

## 牛脂

Beef Tallow

SEVUM BOVINUM

本品はウシ *Bos taurus* Linné var. *domesticus* Gmelin (*Bovidae*) の新鮮な脂肪組織に水を加え、加熱して溶出し、精製して得た脂肪である。

性状 本品は白色均質の塊で、わずかに特異なおいがあり、味は緩和である。

本品はジエチルエーテル又は石油エーテルに溶けやすく、エタノール (95) に極めて溶けにくく、水にほとんど溶けない。

本品は低温で砕くことができるが、30 °C 以上で軟化する。

融点：42 ~ 50 °C (第 2 法)

酸価 2.0 以下。

けん化価 193 ~ 200

ヨウ素価 33 ~ 50 (試料がシクロヘキサン 20 mL で溶けない場合は、共栓フラスコを温湯中で振り混ぜて溶かす。それでも溶けない場合は、溶剂量を増やす)

純度試験

(1) 水分及び着色度 本品 5.0 g を水浴上で加熱して溶かすとき、液は澄明で、水を分離析出しない。また、この液を 10 mm の層として観察するとき、無色~わずかに黄色である。

(2) アルカリ 本品 2.0 g に水 10 mL を加え、水浴上で加温して溶かし、強く振り混ぜる。冷後、分離した水液にフェノールフタレイン試液 1 滴を加えるとき、液は無色である。

(3) 塩化物 本品 1.5 g にエタノール (95) 30 mL を加え、還流冷却器を付け、10 分間煮沸する。冷後、ろ過し、ろ液 20 mL に硝酸銀のエタノール (95) 溶液 (1 → 50) 5 滴を加えるとき、液の混濁は次の比較液より濃くない。

比較液：0.01 mol/L 塩酸 1.0 mL にエタノール (95) を加えて 20 mL とし、硝酸銀のエタノール (95) 溶液 (1 → 50) 5 滴を加える。

貯法 容器 密閉容器。

## 吸水軟膏

Absorptive Ointment

製法

白色ワセリン	400 g
セタノール	100 g
サラシミツロウ	50 g
セスキオレイン酸ソルビタン	50 g
ラウロマクロゴール	5 g
パラオキシ安息香酸エチル	1 g
又はパラオキシ安息香酸メチル	
パラオキシ安息香酸ブチル	1 g
又はパラオキシ安息香酸プロピル	
精製水	適量

全量 1000 g

本品は「白色ワセリン」、「セタノール」、「サラシミツロウ」、「セスキオレイン酸ソルビタン」及び「ラウロマクロゴール」をとり、水浴上で加熱して溶かし、かき混ぜて約 75 °C に保ち、これにあらかじめ「パラオキシ安息香酸メチル」又は「パラオキシ安息香酸エチル」及び「パラオキシ安息香酸プロピル」又は「パラオキシ安息香酸ブチル」を「精製水」に加え、80 °C に加温して溶かした液を加え、かき混ぜて乳液とした後、冷却し、固まるまでよくかき混ぜて製する。

性状 本品は白色で光沢があり、わずかに特異なおいがある。

貯法 容器 気密容器。

## 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン

Freeze-dried Inactivated Tissue Culture Rabies Vaccine

本品は不活化した狂犬病ウイルスを含む乾燥製剤である。